

	<p>学校だより</p> <h1>おやまがおか</h1> <p>～全ては、子どもたちの笑顔のために！～</p>	<p>町田市立小山ヶ丘小学校 校長 大川 優 2026（令和8）年 2月27日 発行 第286号</p>
<p>〒194-0215 町田市小山ヶ丘五丁目 37 番 電話 042-770-6251</p>		

「卓越・友情・敬意」

校長 大川 優

2月17日(火)、19日(木)、20日(金)の学校公開・保護者会には、多数の保護者の皆様に来校いただき、誠にありがとうございました。今年度最後の機会に、お子様の成長した姿をご覧いただけたことを嬉しく思います。保護者の皆様に見守られ、発表に取り組む子どもたちの真剣な表情と、その中に見られた多くの笑顔は、私たちにとっても、心に残るひとときとなりました。一年間、温かくお支えいただきましたことに、心より感謝申し上げます。

さて、22日まで、「ミラノ・コルティナ 2026 冬季オリンピック」が開催されていました。日本人選手の挑戦が多く感動を私たちに与えてくれました。中でも、町田市出身のスキー女子モーグルの富高日向子選手は、決勝で同点となりながらも技術点の僅差で4位となり、あと一步でメダルに届きませんでした。競技後のインタビューで「結果は悔しいけれど、今できる全てを出し切れた。この経験を次につなげたい。」と語っていた姿が特に印象に残っています。

オリンピックが大切にしている3つの価値「卓越・友情・敬意」は、特別なオリンピックの舞台だけのものではなく、学校でも大切にされるべきものだと感じています。

「卓越」とは、ベストを尽くし、昨日の自分を超越しようと努力すること。これは、授業や行事、日々の積み重ねの中で育まれます。「友情」とは、互いを認め、励まし合い、支え合うこと。協働学習や特別活動の中で深まります。「敬意」とは、ルールを守り、相手の思いを大切にすること。挨拶や言葉遣い、互いを認め合う姿勢に表れます。

本校では、これら3つの価値に関わる力も具体的な教育活動の中で育ててまいりたいと考えています。日々の授業では、指導者が意図的に多様な選択肢(学び方)を設定し、子どもたちが「選択(自己決定)」を繰り返しながら学びを進めることで、個別最適な学びを実現させ、「卓越」に向かう力を養います。縦割り班活動や委員会活動では、学年を越えて協力する経験を重ねさせ、「友情」を実感できる場を広げます。また、道徳や学級活動では、相手の立場に立って考える学びや話し合い活動を通して、「敬意」の心を育てます。日々の挨拶や清掃活動も、自分と周りにいる人達を大切にしている実践の機会であると捉えています。

「全ての教育活動は、子どもたちの笑顔(目の前にある笑顔から、将来の笑顔まで)のために行われるべきものである。」という学校経営方針のもと、がおかの子どもたちが挑戦し、支え合い、互いを尊重しながら成長でき、笑顔がさらに輝くよう、教職員が一丸となり、よりよい指導・支援に努めてまいります。

御理解・御協力のほど、どうぞよろしくお願いいたします。